

2025年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート調査実施状況

1. 2025年度回答者内訳

研究科	M 1			M 2			全 体		
	在学者	回答者	回答率	在学者	回答者	回答率	在学者	回答者	回答率
地域文化研究科	16	1	6%	16	2	13%	32	3	9%
地域産業研究科	0	0	0%	7	2	29%	7	2	29%
法学研究科	6	0	0%	5	4	80%	11	4	36%
合 計	22	1	5%	28	8	29%	50	9	18%

※学生数は、2026年3月1日付学生数による。

2. アンケート実施期間

2026年1月6日～2026年2月27日

3. アンケート告知方法

(1)キャンパススクエア内の掲示板「2025年度 大学院教育研究の向上に関するアンケートについて」およびメール送信にて通知

4. アンケート回収方法

(1)Webアンケート(Googleフォーム)での回答(9件)

(参考)過去3年間(2022～2024年度) 回答者内訳

【2024年度回答者内訳】

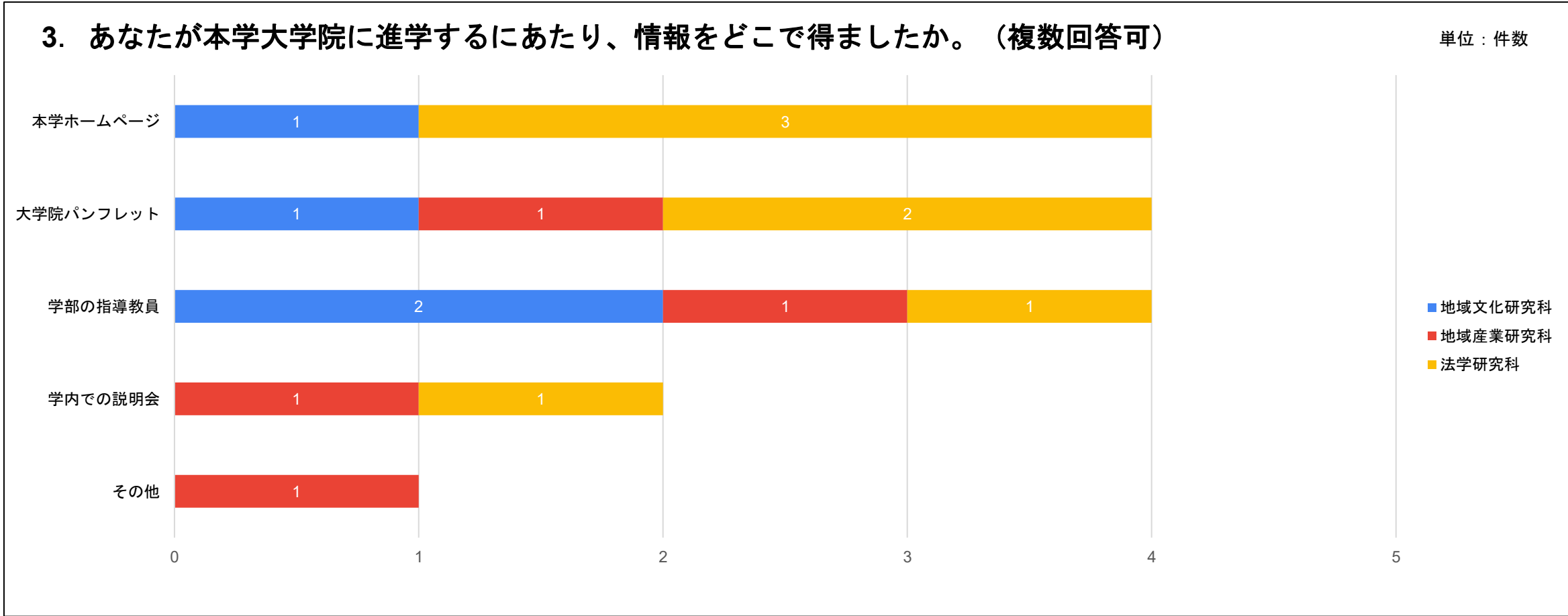
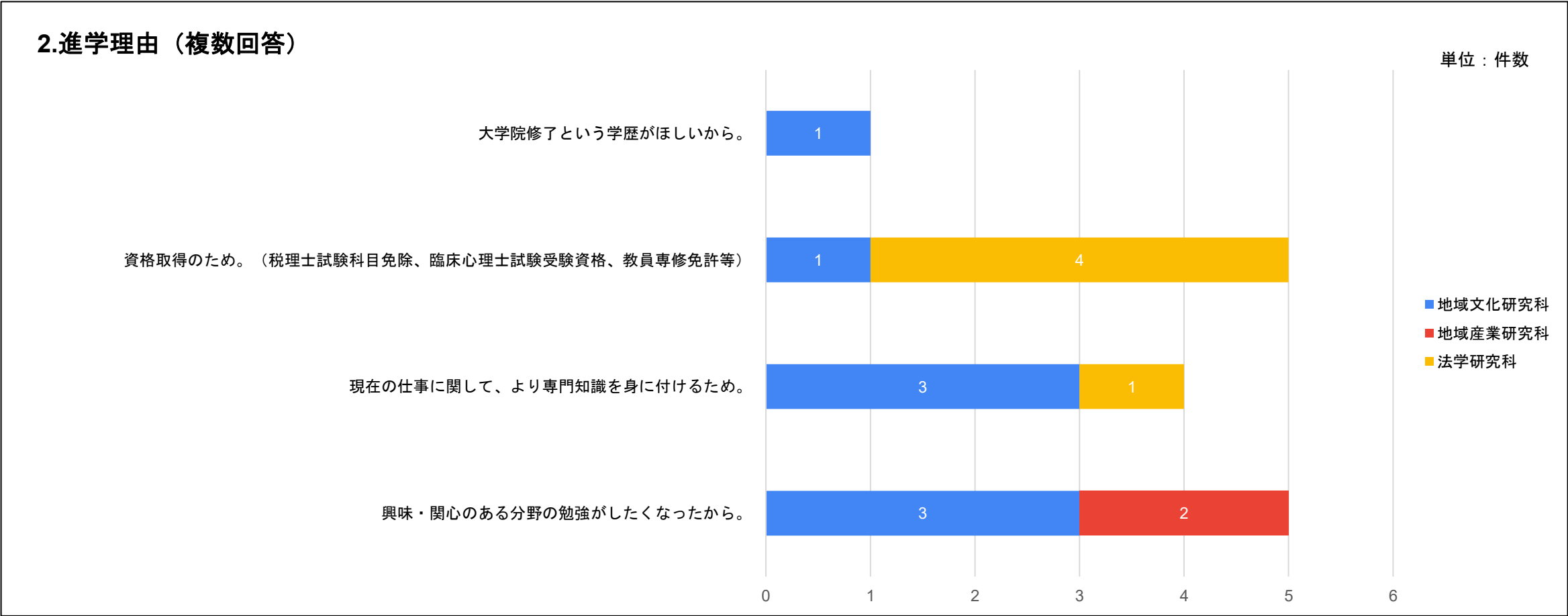
研究科	M 1			M 2			全 体		
	在学者	回答者	回答率	在学者	回答者	回答率	在学者	回答者	回答率
地域文化研究科	13	4	31%	19	2	11%	32	6	19%
地域産業研究科	6	1	17%	6	0	0%	12	1	8%
法学研究科	5	3	60%	5	2	40%	10	5	50%
合 計	24	8	33%	30	4	13%	54	12	22%

【2023年度回答者内訳】

研究科	M 1			M 2			全 体		
	在学者	回答者	回答率	在学者	回答者	回答率	在学者	回答者	回答率
地域文化研究科	15	6	40%	27	10	37%	42	16	38%
地域産業研究科	3	0	0%	7	0	0%	10	0	0%
法学研究科	5	0	0%	6	0	0%	11	0	0%
合 計	23	6	26%	40	10	25%	63	16	25%

【2022年度回答者内訳】

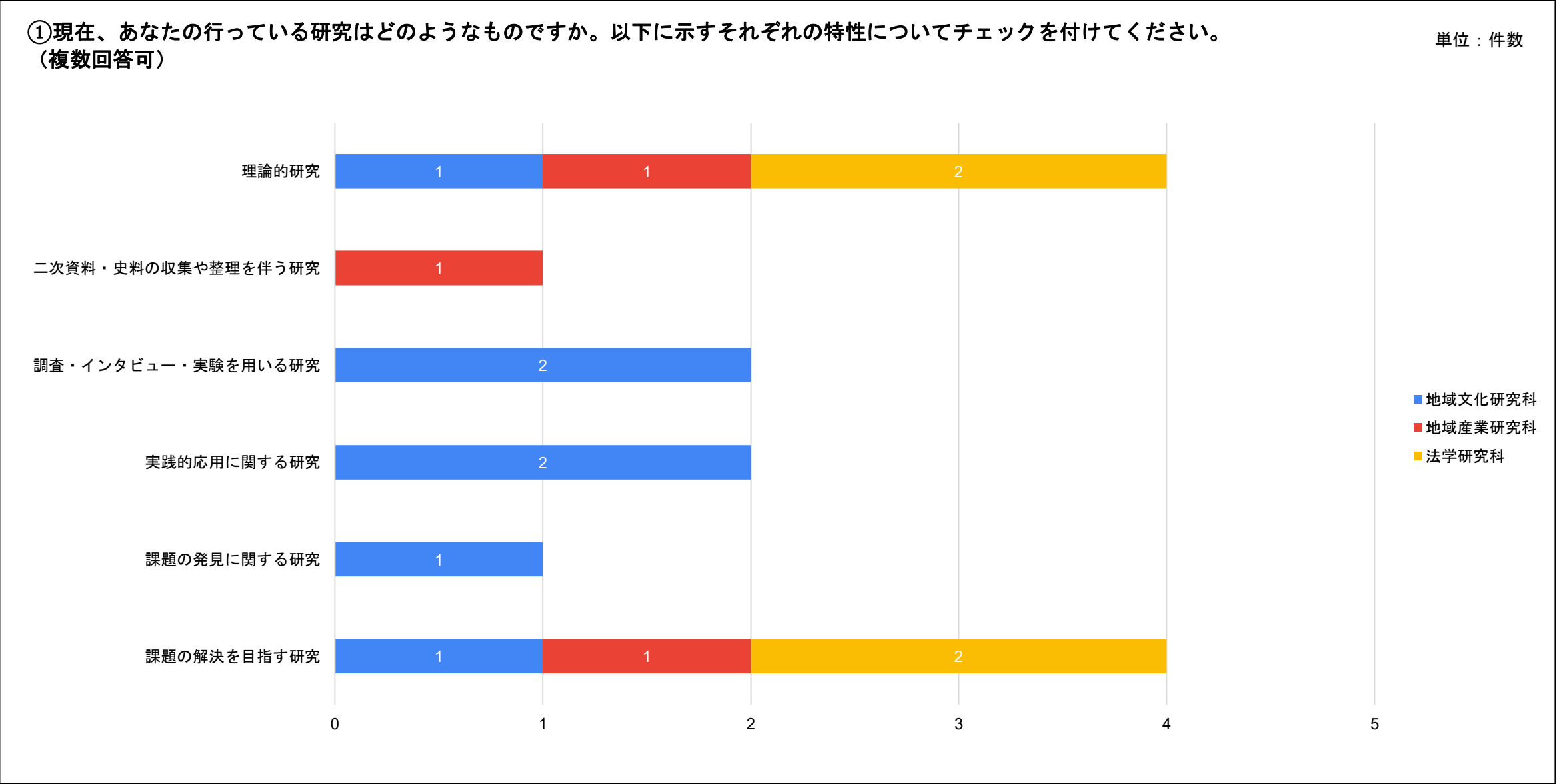
研究科	M 1			M 2			全 体		
	在学者	回答者	回答率	在学者	回答者	回答率	在学者	回答者	回答率
地域文化研究科	18	12	67%	24	7	29%	42	19	45%
地域産業研究科	5	2	40%	8	1	13%	13	3	23%
法学研究科	6	0	0%	6	0	0%	12	0	0%
合 計	29	14	48%	38	8	21%	67	22	33%



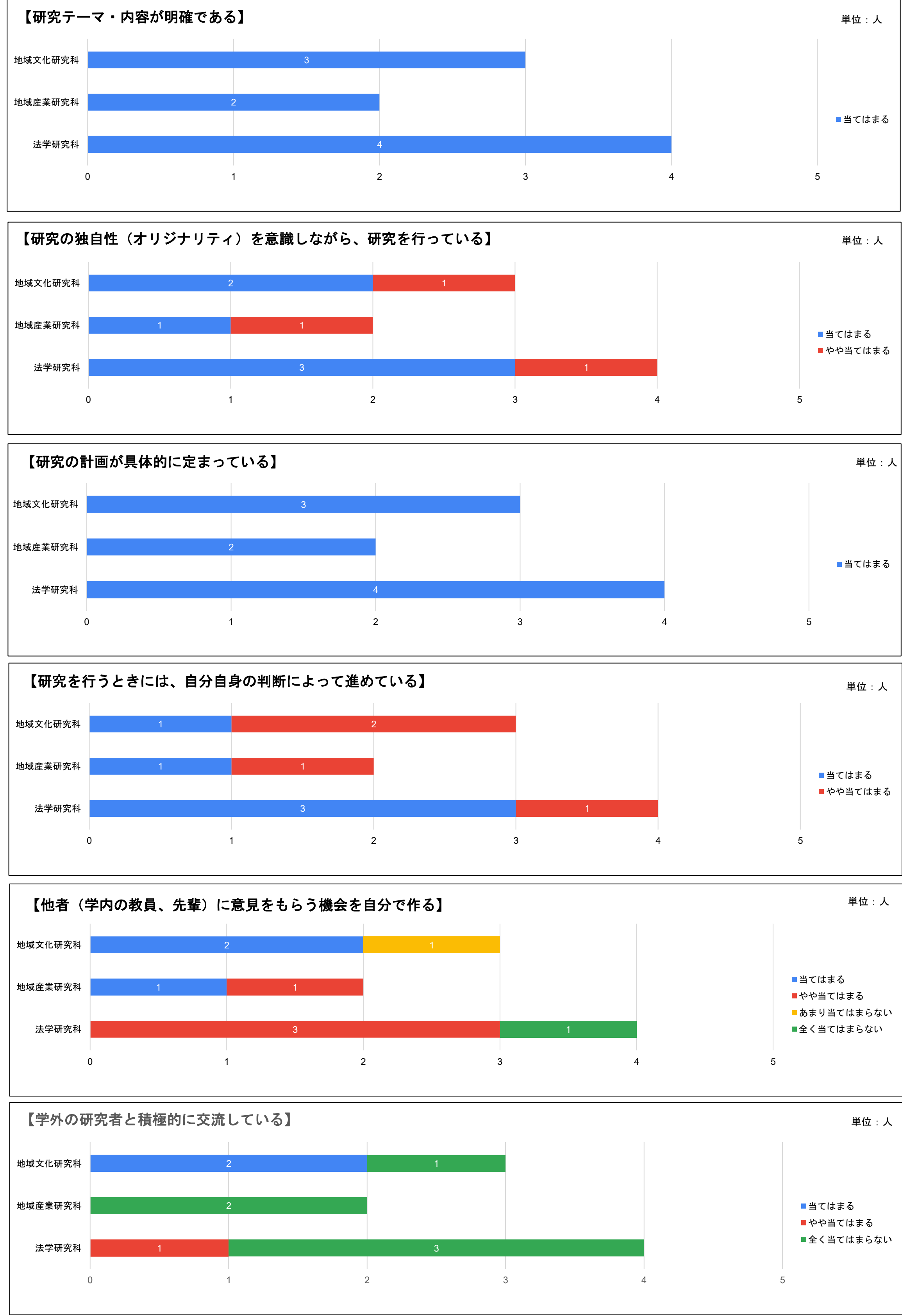
質問3で「その他」を選択した方は、情報源をご入力ください。

所属	その他の情報源
地域産業研究科	教員

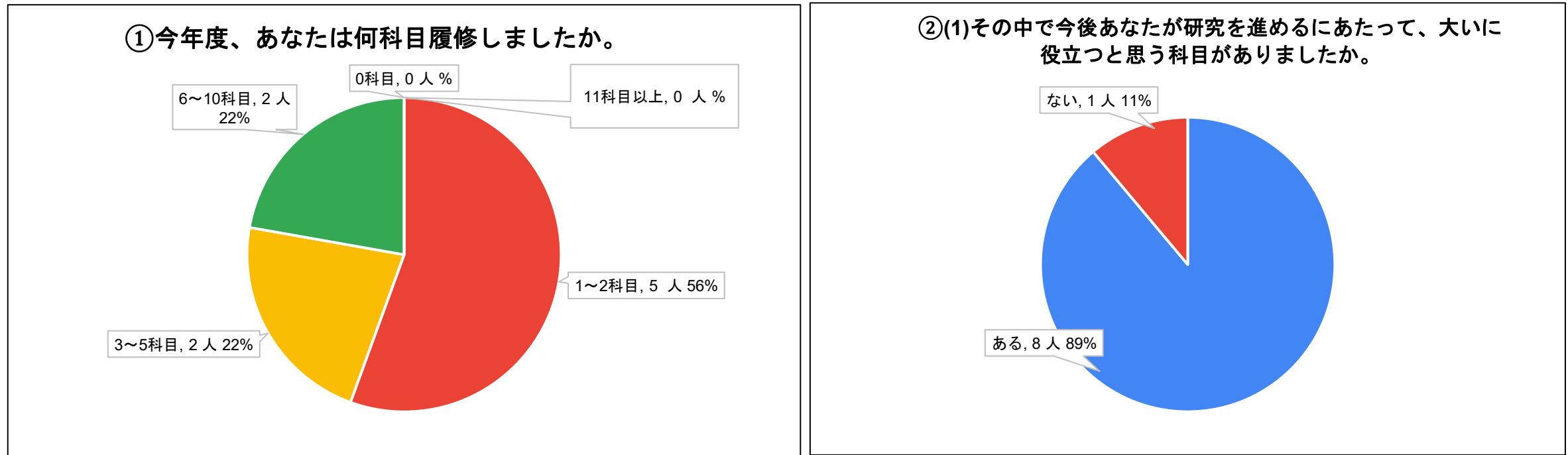
4.あなたの研究についてお尋ねします。



②現時点での研究の状況



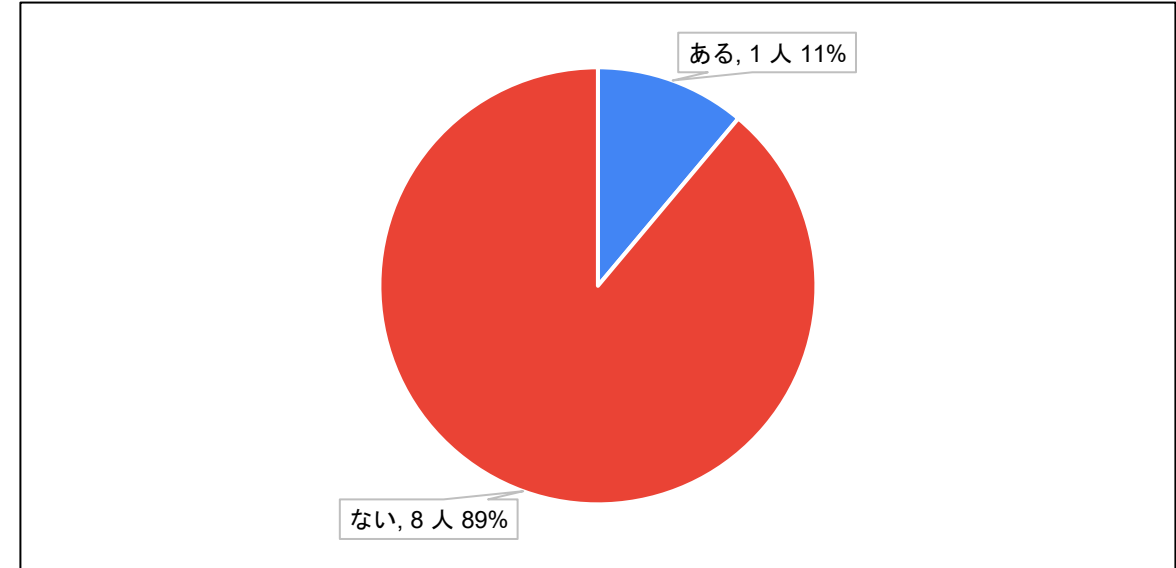
5.今年度に大学院で開講されている授業についてお尋ねします。



②(2)研究に役立つと思った科目名、(3)理由

所属	科目名	理由
地域文化研究科	ゼミと英語論文の書き方	ゼミでは指導教員とじっくり研究について話す機会があり、英語論文の書き方では論文執筆に必要な指導が受けられた
地域文化研究科	産業組織心理学	現場の話を多く聞けることができる
地域文化研究科	対人援助特論Ⅰ	研究を進める上での理論および概念と、対人援助職として具体的な現場実践を行う基盤の統合ができた。
地域産業研究科	特殊研究	様々な分野の先生から研究内容について相談できた
法学研究科	税法	全般
法学研究科	税法特殊研究Ⅱ	課題を解決する力が役に立つと思いました。
法学研究科	税法特殊研究Ⅱ	税法への深い理解
法学研究科	税法特殊研究	税法の ※原文ママ

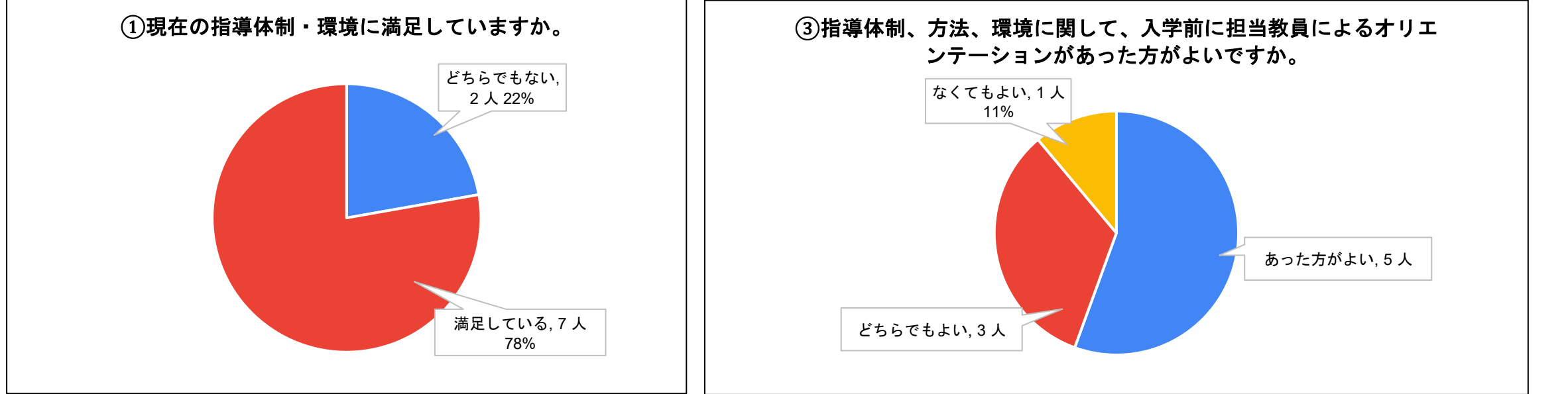
③(1)今後あなたが研究をすすめるにあたって、何らかの改善をした方が良くと思う科目がありましたか。



③(2)改善したほうがよいと思った科目名、(3)理由

所属	科目名	理由
法学研究科	行政法	選択科目したほうがいい

6.あなたの研究に関する現在の指導体制・環境についてお尋ねします。



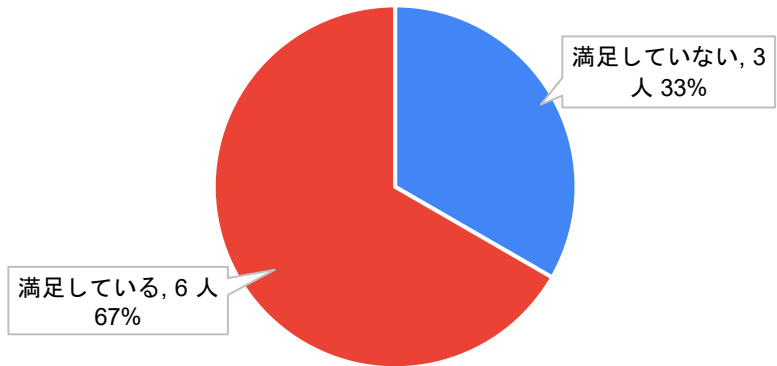
②満足できない理由（①で「満足していない」または「空欄」で回答した方）・・・なし

④その他、指導体制、方法、環境に関するご意見やご要望

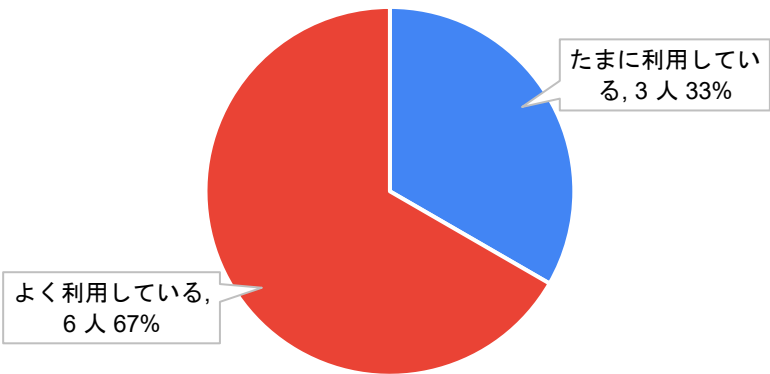
所属	ご意見・ご要望
地域文化研究科	●●先生、●●先生は、研究に理解を示してくださり、常に寄り添ってくださっています。 また、問題が出た際にも解決方法を教えてください、お二人のような先生に指導していただけたのは本当にありがたく、良い環境だと思います。
地域文化研究科	アルバイト禁止は時代錯誤だと思うし、むしろ社会経験をさせたほうがいい

7.大学院の施設・設備についてお尋ねいたします。

①大学院の研究や論文作成のための施設・設備に満足していますか。



③講義や課題や論文の作成にあたり、大学の設備（研究室及び図書館等）を利用していますか。



②満足していない理由（上記①で「満足していない」と回答した方のみ）

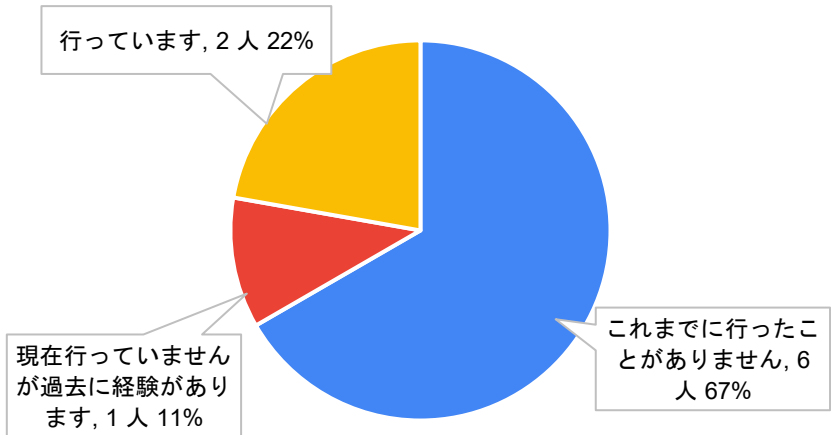
所属	ご意見・ご要望
地域文化研究科	図書館の開館時間を長くして欲しい。学内の開館時間を伸ばして欲しい。
地域産業研究科	院生室で利用できると聞いていた、解析ソフト（SPSS）が使えなかった。そのため、空きコマを確認しながらPC教室を利用する必要があり、計画通りに進めることが難しかった
法学研究科	図書館利用

④その他、大学院の施設・設備に関するご意見やご要望

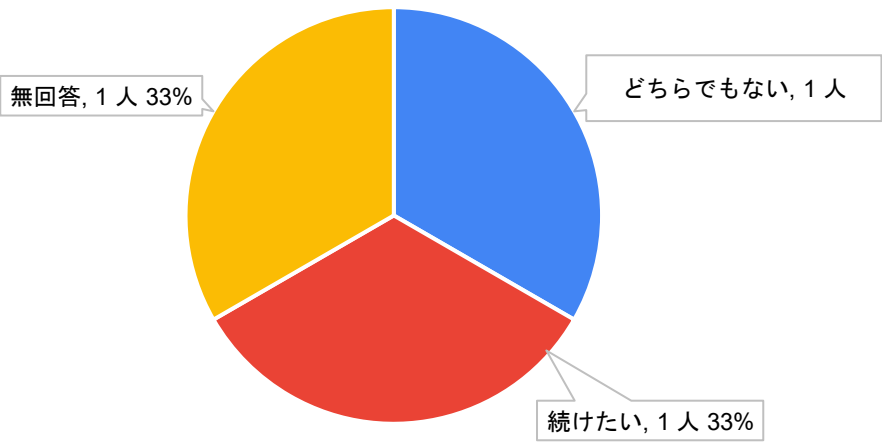
所属	ご意見・ご要望
地域文化研究科	図書館に個室の研究スペースがあることを最近知った。もっと告知してもいいと思う。
地域文化研究科	トイレのウォシュレット直してほしい
地域文化研究科	本棚が欲しいです。
法学研究科	図書館の利用時間が短くなったことにより、社会人の論文作成が厳しい環境だと感じました。
法学研究科	図書館の開館時間は土日は増やすか、日曜日も開館したほうが良いと思う

8.教育支援者（TA・SA）制度についてお尋ねいたします。

①あなたは、現在、教育支援者（TA・SA）として、学部授業のサポートを行っていますか。

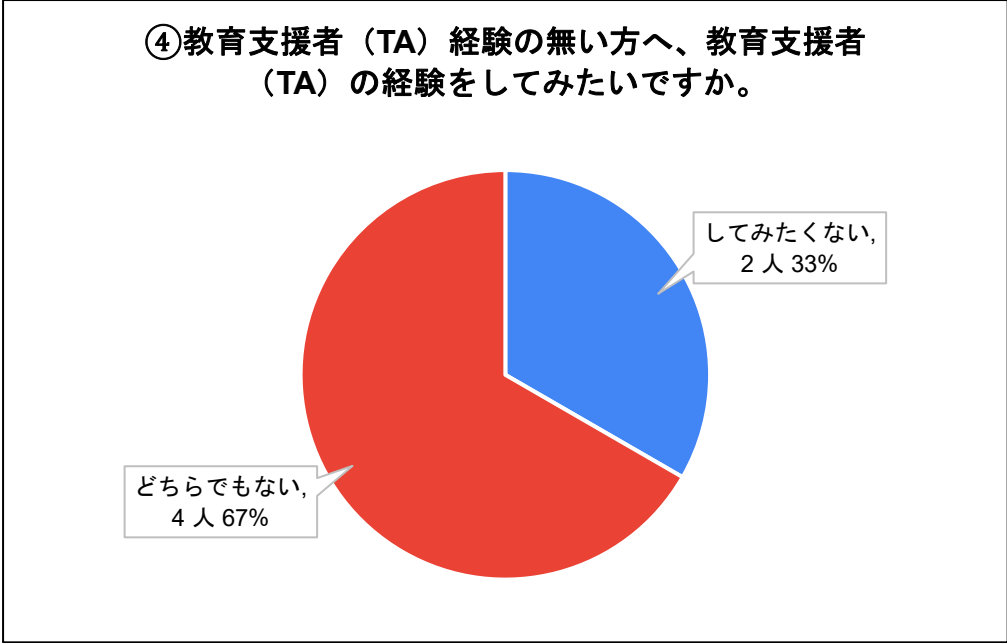


②教育支援者（TA・SA）を続けたいと思いますか。



③上記②の回答理由

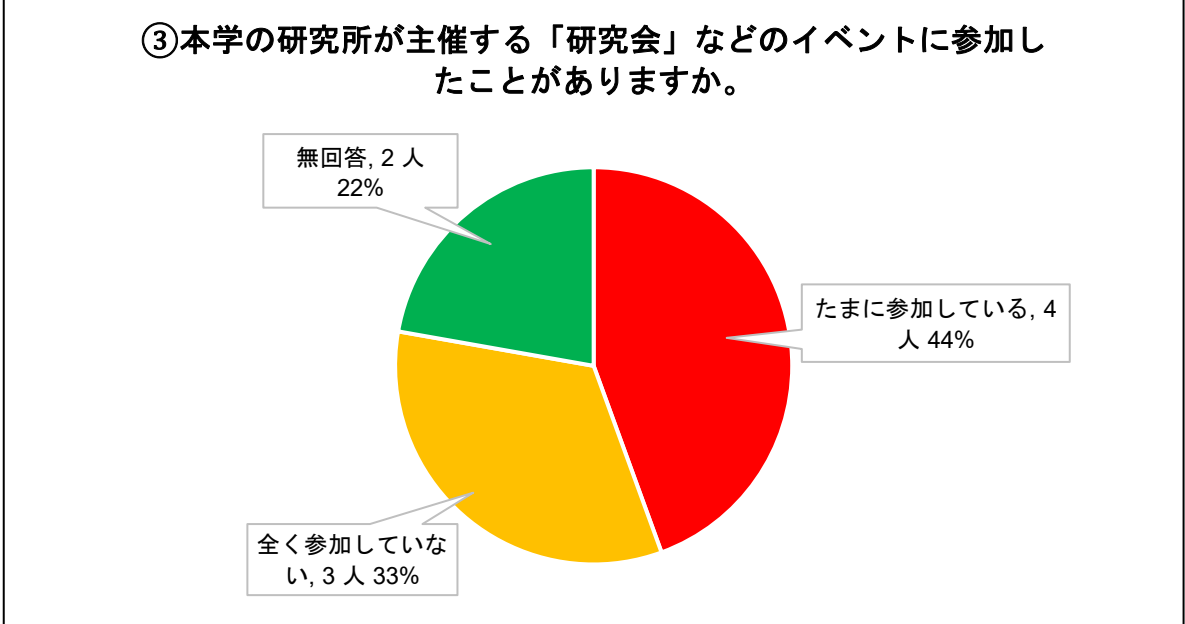
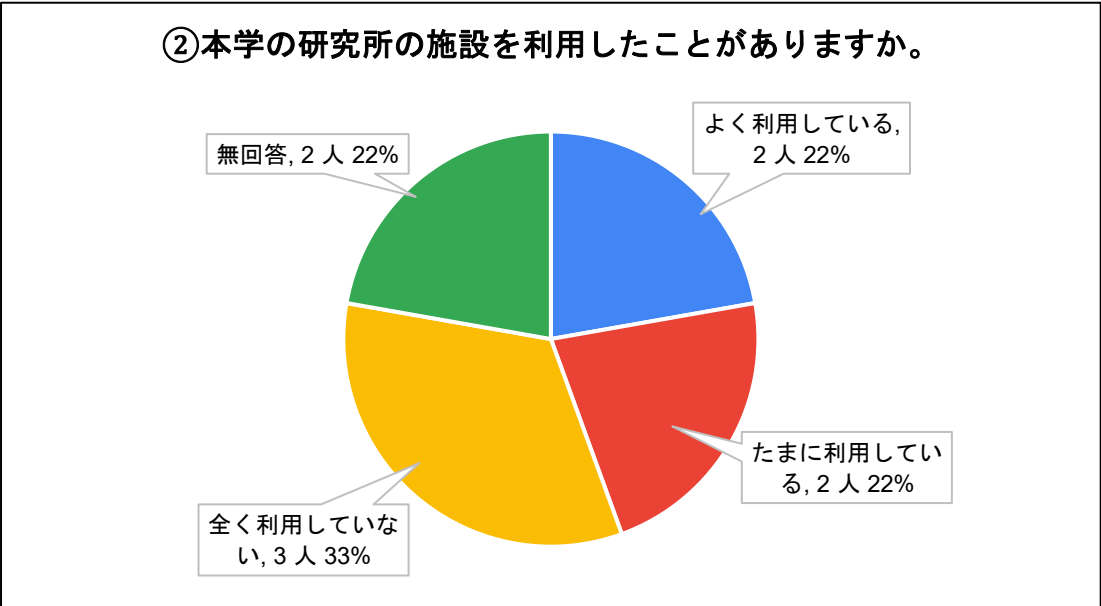
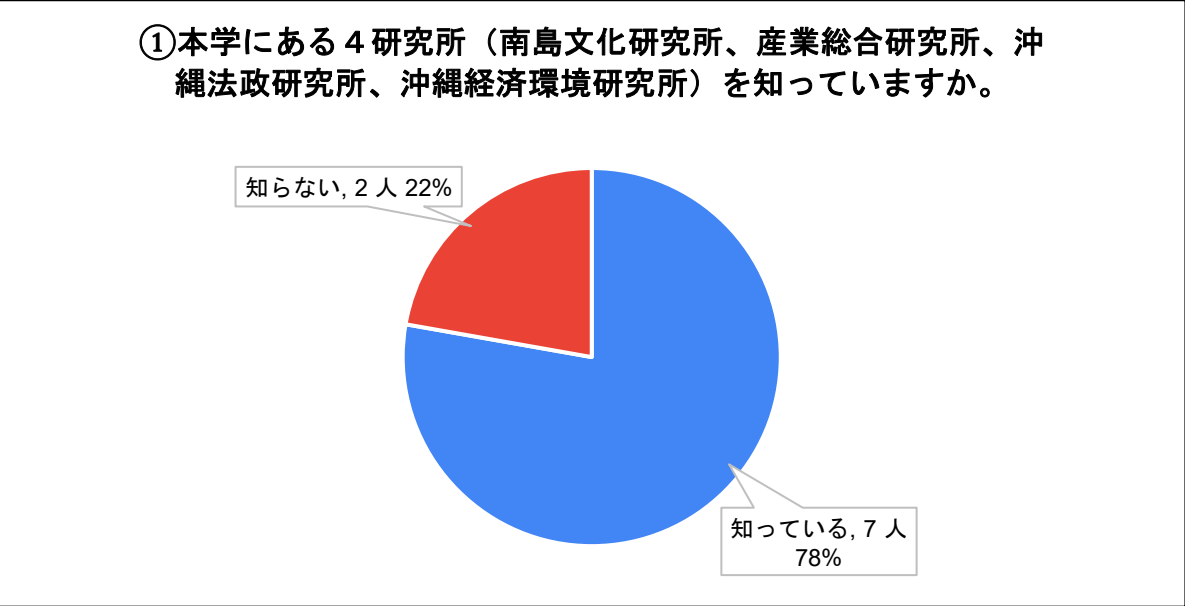
所属	②の回答	理由
地域文化研究科	続けたい	学生の指導を通して、自分の勉強にもなるから
地域産業研究科	どちらでもない	次年度の環境次第だから



⑤ 上記④において、その回答を選んだ理由は何ですか。

所属	④の回答	理由
地域文化研究科	してみたくない	時間がない
地域文化研究科	どちらでもない	講義の内容や自身のスケジュールの兼ね合いが合えばやってみたいです
地域産業研究科	どちらでもない	無記入
法学研究科	どちらでもない	社会人だから
法学研究科	どちらでもない	自分自身の研磨するのに必死のため
法学研究科	してみたくない	税理士試験やアルバイトで忙しいから

9.本学に付置している研究所についてお尋ねいたします。



10.その他、ご意見やご要望がございましたら、自由にご記入ください。（時間数、科目の種類など）

所属	ご意見・ご要望
地域文化研究科	他の大学院は届出をしている臨床心理士に必要な科目の届出を大学院が行っていないため、多くの科目を履修する必要があった。